

議 事 録

会議名	平成28年度第3回寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会		
開催日時	平成28年11月24日（木）午前10時00分から午前11時45分		
開催場所	寒川町消防本部 3階 講堂		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>< 委員 > 梅村仁（委員長）、田中雄介、大谷勝彦、伊與田能輝、太田良勝、松島幸司、豊田敏樹、西郷公子、高坂薫、前田久子</p> <p>（欠席者） 近藤祐幸（副委員長）、金子一茂、豊田大知、鈴木潔、牧戸雅子</p> <p>< 事務局 > 企画政策部長：深澤文武、企画政策課長：高橋陽一、企画行革担当副主幹：青木裕昭、同主査：吉田慎也、三澤忠広、同主任主事：三澤功一、赤崎平</p> <p>※ 傍聴者4名</p>		
議 題	(1) 平成28年度総合戦略事業の進捗状況について (2) 寒川町プロモーション戦略（案）について		
決定事項	議事- (1) 平成28年度総合戦略事業の進捗状況について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 議事- (2) 寒川町プロモーション戦略（案）について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>○開会 議事までの間、深澤部長が司会進行</p> <p>○議題（議事進行：梅村委員長） （梅村委員長）文教大学の梅村でございます。足下の悪いなか今日はありがとうございます。地方創生も2年度目に入りまして、今日はプロモーション</p>		

の戦略につきまして、具体的な説明があるかと思しますので、皆様の闊達なご発言をいただきたいと思しますのでお願いいたします。議題に入ります前に、今回の議事録承認委員の確認についてですが、承認委員については、「名簿順」ということになっております。今回は豊田委員になりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。

議題1平成28年度総合戦略事業の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

<事務局から平成28年度総合戦略事業の進捗状況について概要を説明>

(梅村委員長) 説明が終わりました。ただいまより委員の皆様からご意見、ご質問等いただきたいと思えます。沢山ございますので目標ごとにお伺いさせていただきます。基本目標1エコノミックガーデニング推進事業についてご意見等がありましたらお願いします。

私の方から1つ。長い期間での政策対応が必要かと思えますが、イメージで結構なので来年度以降どういったかたちでの進行をお考えでしょうか。

(事務局) 本年度は既存企業の製造業を中心とした現状の把握として企業訪問を行い、それぞれの課題が見えてきた状況です。支援の対象として特に若手経営者に重きを置いて、支援をしていく可能性を探っていきたいと考えております。既存企業の支援は、若手中心の前向きな企業さんを考えております。創業支援につきましては、創業の窓口の設置のお話をしましたが、創業支援計画という既存計画を、新たに認定支援機関を増やし、新たな体制をつくりましたので、創業の個別相談を中心に行っていきたいと考えています。企業支援の体制として関係機関とのネットワークづくりが重要な要素になっておりますので、町内では金融機関さん、国と県等との機関との顔合わせをしながら、一緒に企業訪問に回っていただく状況も構築できておりますので、具現化に向けた取り組みについて進めていきたいと考えております。

(松島委員) エコノミックガーデニング推進事業では、金融機関とコラボレーションしていろいろやっていくことになると思えます。時間がかかる事業ではあると思えますが、町の方が企業さんに訪問してどんな仕事をしているのか面談しながらやっていくことは、意義があることだと考えております。横浜銀行としましても、寒川町と連携しながら経営者向けのセミナーですとか、いろいろな角度から町全体を盛り上げていけるように企画を調

整しておりますので、金融機関も入りながら盛り上げてやっていきたいと考えております。

(梅村委員長) 他にいかがでしょうか。では、基本目標2でございます。観光振興推進事業、タウンセールス推進事業につきまして、ご意見等がありましたらお願いします。

(高坂委員) 来年度以降のイベント以外の来訪の仕組みで具体的に案がありましたら伺いたいのと、寒川神社さんとの協働を検討されているでしょうか。

(事務局) 現状ではイベント開催が中心になっていて、町への来訪を促す仕組み作りが必要ですが、まだ、具体的にこうしていきたいというレベルの考え方は担当課からは示されておりませんが、話すなかでは、来ていただいても他に行くところがないので、すぐに帰ってしまい滞在時間が短くなってしまいう問題があると聞いております。例えばびっちょり祭りはいい例であると考えておまして、お祭りは昼間イベントを行って、夜は諏訪魔さんのプロレスがあり、滞在するいろいろなものがある仕組みがあるいい実例がありますので、そういった観点でやっていくところも大事ではないかと思えます。そういった発想をイベント以外の仕組み、仕掛け作りを取り組んでいくべきではないかと考えております。そういった中では、寒川神社さんとの連携も必要になってくると思えます。基本目標は違いますが、若者会議のまちびとすたいるが立ち上がりまして、9月30日に組織化しまして、10月23日に発起式をメンバー23人、JC、商工会青年部、JA青壮年部を中心に、寒川町を若者の手でよくしていきたいとイベントだけではなく、そもそも町を良くしていきたいという方に集まっていただき、どうしてこうかという話し合いの場を持っております。こういった場についても広くPRしていきながら、共感をしていただける方を、寒川町民に限った組織体ではなく、趣旨に賛同していただける方に入ってきて、自由にやろうと若い力を結集して、寒川はイベント以外におもしろい取り組みをしているなど、合わせてやりながら進めていきたいと思えます。

(伊與田委員) 先日も産業まつりもありまして感じたんですけど、駐車場が寒川町の中に少ないのではないかと。町の中で町の人に来てもらうというかたちであれば駐車場がなくてもいいかもしれませんが、町外から人を呼んで滞在してもらうとなると、移動手段は自動車となるかと思えます。車を止める場所がないと、滞在時間を延ばしてもらおうとしてもなかなか難しいのかなと思えます。今の計画の中で町営の駐車場をつくるなどのお考えがあればお聞かせいただければと思います。

(事務局) ご指摘いただいたとおり、町外から来ていただく方の交通手段としては、相模線もありますけども車でいらっしゃる方も多くいられます。現状は町役場の駐車場を開放したり、なるべく開放したいと考えているところですが、不十分と感じている方もいらっしゃると思います。滞在時間を延ばしていくということでは課題と考えています。現状として増やしていくことを具体的にどうしていくかは、具体性を持ったところまでにはなっておりません。一方で岩手県の紫波町というところでオガールプラザというところがありまして、そこでも駐車場の問題があるということで、逆に飲食のみならず、地元のおいしいお酒を楽しむということを打ち出していて、そうすると飲酒運転はできませんから、車で来ないという、一つ発想を転換すると駐車場不足も解消できるし、地元のお酒を楽しめるということもあるということでした。駐車場不足をどうするかということとともに、車で行かなかつたらどういった楽しみ方ができるのかといったことも考えながら取り組んでいけたらと思います。

(梅村委員長) 他にいかがでしょうか。続いて基本目標3について、ご意見等がありましたらお願いします。

(前田委員) 防災活動充実事業の中で、保育園や幼稚園の講習会ですが、これからの計画の中に入っているか分かりませんが、健康管理センターなど他のところでも子育て支援事業を行っております。その時に一緒にできるようなことも考えてらっしゃるでしょうか。お子さんのことと一緒に防災のことができるという考えはあるのでしょうか。

(事務局) 子育て世帯の方々にも防災意識をより持っていただくことを取り組んでいる中では、単純に防災講演会に来ていただいた方だけではなく、健康管理センターなど自ら出向いていくことも必要だという認識を持ってやっていますけども、どういったことが効果的なのか、自分達だけで考えているのでは限界がありますので、次の子育て世代である例えば中学生や高校生など防災に対する現状を把握しながら、次年度以降より効果的な取り組みを考えて行きたいと聞いておりますので、ご指摘いただいた点を担当課に伝えてそれをふまえて取り組みを進めていきたいと考えております。

(梅村委員長) 他にございますか。

(西郷委員) プロモーション戦略のところ、町民は満足度が高いことが分かり、買い物がしやすく、富士山も見える、駅も結構ある、地価が安いから戸建ても買えるということが分かったんですけど、とりあえずキックオフなのでこれでやっていけばいいと思ったんですが、ただ、それを口で言うのではなく、例えば、富士山がどこからでも見えて、こんなふうに見える

んですよと写真をアップする方法をもっと目指すような。二宮では菜の花と吾妻山の写真が思い浮かんだりします。横浜でもランドマークタワーと観覧車と富士山など、そういうイメージを持てるようなものの写真がアップされるとか。ただ安い地価が安いのは不便だから安いという部分も若干あると思いますけど、安くてある程度納得のいく便利さであれば皆さん来たいと思うんですけども、幾らということは、実は外の人にはよく分かってないので、もう少し具体的なデータを出すなど。二宮町では若い人がパン屋さんを開いていたりというのを、非常に上手にHPに出していらっしゃる町民のPR部隊がいるみたいで、これだったら行って何か始めてもいいのかもというような気持ちになるような若い人たちがいて、売り出しているのが、何もなくていいじゃないというスタイルなんですけれど、寒川町の場合にはいろんなものがあるので、それではないと思うんですけど、そういう具体的なスタイルが分かるようなものをやっていただきたいなと思います。それと、子育てに関しては、今非常に関心が高いので、いいことをやればものすごいPRになると思います。県下でも全国でも特徴あることとか、それを使って自分の街を変えていきたいということもあると思うんですけど。この間保育のシンポに伺ったんですけど、保育園に入れないと明日会社を辞めなければならないかもしれないと涙ながらのお話でした。仕事を続けたいと思っていてもなかなか難しいということもあるので、そこをどうコンパクトな街で解決できるのかとか、少し違うことができるか、ということをやると素晴らしいことになるのではないかと思います。最近では、保育園と小1ギャップがすごいというのを若いお母さん方がおっしゃっていて、保育園は理解が進んで延長保育ですとか一時預かりですとかいろんなことをして下さるようになっていくんですけども、小学校に上がったとたん学童になってしまって、勤務時間を短くしないと迎えに行けない、辞めなきゃいけないかもしれないという、学童が終わった後どうすればいいか、5時6時といわれて、保育園では7時までだったのにとの兼ね合いで、東京には通いきれませんかという方がいっぱいいらっしゃるようで、小1ギャップと言うそうなんですけども、それをどう解決していくかというのがあるようなんです。そういうことを具体的に解決してくれる町ということであれば、非常に魅力がアップするのかなと思っています。児童館も今すごい注目されている理由は、お年寄りも来られる、小学生も来られる、保育園児も来られるという、他世代が行ってもよく、他のお母さんが見てくれるみたいに、広場的に使い勝手が素晴らしいというご意見があって、それで解決していくということ。子育て支援センターは、対象以外は来てはい

けないようなんです。それだと他世代の子を持っているお母さんは困って、この子はこっちで、あっちはあっちでしか使えなくて。ある程度親どうしでネットワークができれば助け合っているようなんですけど、その辺をうまく解決できれば、タイミングよく今やればすごいアピールになると思います。

(事務局) プロモーションの関係でございますけども、二宮町さんの移住のPRビデオも見ましたけども、言葉だけだと伝わらなく視覚に訴えることがいかに重要かを感じておりますので、近くに上手にやってらっしゃるところもありますので、参考にしながら、やって結果が出なければ全く意味がありませんので、いいものは取り入れるということでやっていきたいと思っています。寒川町の持っている良さ、強みの暮らしやすさというものをいかに外に知っていただくかということが必要で、その中で単に安い、暮らしやすい、ローコスト、質の高い暮らしといってもなかなか伝わらない部分がありますので、できれば実際にお住まいの方がこういったライフスタイルでこういった暮らしを実現できているということをPRできるつくり、こういう生活スタイルが寒川で実現できるというライフスタイルを強く訴えて行きたいと考えています。まちびとすたいるという立ち上がったばかりの具体的な取り組みは実現していませんが、志を持った住民ということで、若い世代を中心に取り組んでおります。私も職員の立場でなくて一個人として参加しておりますので、今後PRも取材などご協力いただければと思います。子育て世帯が抱えている問題については、皆さんからこういうふうにしたらできるのではないかと、これまでの話し合いの中で出ておりますので、いただいたご意見を持ち帰って寒川でやれないかと話し合ってみたいと思います。また、担当課にも伝えながら一緒に考えて具体的に何かを解決してくれる町であると訴えられるような取り組みをしてまいりたいと考えております。

(梅村委員長) 茅ヶ崎市の地方創生の会議の時に家賃など生活費の比較表を見たことがあります。ホームページに上がっていると思います。比較するのは有効だと思います。

(事務局) データのお話しで、生活するうえでのコストといった部分で、今回キャッチコピーとして、くらし、やすい寒川町ということで、パンフレットの中で、地価や子育てにおける施策の比較など情報発信を進めていきたいと思っています。働き方では、創業支援の中で、昨日創業セミナーを開催し創業全般でやりましたが、働き方という視点では、女性の小さな創業、創業しやすい環境も一つの地域資源になると考えておりますので、そういう夢を実現できる町ということも含めてPRの素材として考えて

いきたいと思います。

(大谷委員) 昨日、大きな地震がありましたけども、出産を控えたあるいは出産直後の方の避難は非常に難しいだろうと思っています。町では、大きな地震が起きて避難が困難な方の調査をして、その条件は75歳以上の1人暮らしで避難できない人、介護や障害など家族の助けが無い方を名簿にして、自治会に渡され共助という立場で助けることになっています。その名簿は1年に1度いただくことになっておりますが、出産を控えたあるいは出産直後の方は大きな地震が起きた時に、避難が非常に難しいだろうと思います。自治会にお願いされる町からくる名簿は年1度ですから、その方たちの情報をいただく状況になっていないわけです。自治会の方からすると避難を助けたくても名簿にないので漏れてしまいます。こういうことを何とか救ってあげられるようなのが、基本目標3の出産と防災というキーワードでは必要ではないのかと。大きな地震の時に避難困難な方だと思っているので考えていただけたらと思います。

(事務局) 地域担当職員として自治会の定例会に出席させていただいている中で、災害時に支援が必要な方のリストを役場が一定の条件のもとお渡ししております。一定の条件の元につくられていますので、それ以外の方でも助けが必要な方がいるのではないかというお話もしております。お子さんを抱えながら避難することは非常に大変なことで、助けが必要なことには変わりないと思いますので、関係課とも協議しながらどういったケアをしていくべきなのかについて検討させていただきたいと思います。

(梅村委員長) 他にいかがでしょうか。それでは、基本目標4についてご意見等がありましたらお願いします。

(太田委員) 整理の仕方で、安心なまちづくり整備事業が少し分かりづらいです。進捗状況でここだけが星が2つで少し遅れていると。理由は防犯灯と防犯カメラの準備が遅れているという話ですね。防犯カメラは補助金の関係で、防犯灯は地域調整の関係で、最初に思っていたより少し遅れているという意味で星が2つということと、KPIが空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数を160に設定していて、他のKPIだと数字に近づけばいいのかもしれませんが、ここは近づいてはいけない数字です。半年たって91件というのが、達成見込は半年で半分ちょっとくらいなので何とか達成できそうという感じなんですか。その表の中で今後の課題で振り込め詐欺の増加が突然出てきて、分かりづらくなっています。事業の進捗状況の中にも出てこないしKPIにも出てこないものが課題に出てきてしまうところが分かりづらいと思いました。安全安心の点からいくと、いろいろなことやっけていて数字的にも良いが、去年に比べると振り込め詐欺の件数が増えている

るということ、違うかたちで表現した方がよさそうだなと感じました。
(事務局) ご指摘については、そのとおりであると思います。突然振り込め詐欺が出てきているのは、茅ヶ崎警察署と協力の中で、管内において被害が増えているということから出てきていると思いますが、事業やKPIとの関連性の中で唐突感があるとの点についてはご指摘のとおりであると思いますので、中身について考えさせていただきたいと思います。

(太田委員) 振り込め詐欺対策を強化する必要があると思っていますよね。この表で整理すると、防犯意識の啓発活動の中で、講話、講演会の際に振り込め詐欺をテーマにやってみようというのをこの表に表すのか、別に整理していくのかということ、ちゃんとしておかないと、進行管理の仕方の問題があるのかということなので、事業としては、茅ヶ崎警察署からそういうお話しがあったのであれば、それをテーマにぜひやっていたきたいと思います。

(田中委員) 寒川町民全体会議推進事業で、インターネット上のサイトで会議を開設するとのことなのですが、具体的にどの辺まで進んでいるのか状況を教えていただきたいと思います。

(事務局) 現状としましては、他の自治体で似たような取り組みをしているところがありますので、その内容ですとか経費、ランニングコスト、イニシャルコストを含めて情報収集している状況です。調べる中では多額の費用がかかっていると担当課では把握しております。これは若い方々を中心に町政に参画していただきたいという手段の1つですので、効果を求める代わりに、経費をどこまでかけてどういう手法でやっていくべきかは、先行事例を踏まえながら、同じようにできるのかどうなのかというところを、検討している状況です。最終的にどうするかは、財政状況もありますので、同様の効果を他の手段で出来るのかどうかも含めて検討している状況であると聞いています。

(大谷委員) 防犯灯の整備状況が星が2つとあります。毎年自治会では、防犯灯を具体的な箇所をお願いしていますが、予算の関係で要望どおりに出来ないとことなんですが、基本的な考え方としては、50mにひとつの防犯灯と聞いております。自治会の方では、ここは暗いから防犯灯を付けてほしいと、その地権者にOKを取って、図面をつくって町に提出することをやってきておまして、その要望に答えていただけるとは何分の1というようなことだと思えます。私からすると予算の関係で進捗が遅れていると、自治会としては、具体的にこの箇所をほしいというのを毎年出しています。去年やってもらえなければ、翌年同じように図面まで入れてお願いしています。ここにほしいというのは具体的に分かっているわ

けで、後は予算の問題だと思うんですが、その辺どういうふうにかえたらよろしいでしょうか。

(事務局) 各自治会から毎年防犯灯の設置要望を出していただいて、予算の範囲で付けている状況です。昨今の財政状況で満足いくかたちではないわけでございます。また住宅開発が進んで街並みが変わってきてなかなか追いついて行かない状況もあることも認識しております。防犯灯の役割としては、犯罪を未然に防ぐことでございますので、町民が望む安全安心はニーズが高いことは認識していますので、全体の財政状況の中で対応していきたいと考えておりますが、できる限り付けていきたいと考えております。

(梅村委員長) 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。続きまして、議題2寒川町プロモーション戦略(案)について事務局から説明をお願いします。

<事務局から寒川町プロモーション戦略(案)について概要を説明>

(梅村委員長) 説明が終わりました。皆様からご意見、ご質問等いただきたいと思えます。

(豊田(敏)委員) 神輿祭りやイベント等は、町内では非常に盛り上がっていると思えますし、町民の方でも知らない方はいないだろうと思えます。目的としては、町外の方に来ていただく、町外から移住していただくことだと思うんですけど、町外の方がどれだけそのイベントがあることと、寒川町はこんなに素晴らしいところということを知られているのかというところが今ひとつ見えないと思えます。プロモーション戦略についても方法が盛りだくさんありますけれども、SNSやインターネットを利用されるということですが、具体的にどうやってどこに対してPRしていくのか具体的に盛り込まれた方が分かりやすいと思えました。6ページの移住候補地としての誘導で、不動産事業者など民間事業者との連携という部分で、もう少し具体的にどういう不動産事業者とどのような連携をしていくのか。不動産事業者と一概にいても賃貸専門業者もあれば戸建て、集合住宅、仲介などいろいろあると思えます。さらに地元の業者さんなのか、情報量の豊富な大手の業者さんと連携していくのか、今後詰めていかなければいけないのかと思えました。住んでもらうことに関しては、特に若年の世代の方々はまず賃貸住宅ではないのかなと。住宅取得はハードルの高い話になりますので賃貸住宅の斡旋や紹介などのシステムも必要なのかなと思えます。あと集合住宅ですけども、高さ制限など行政的な制限もあると思えますので、今後の町の考えもお聞きしておきたいところです。

(事務局) 町外の方からの寒川町のイベント等の認知度や寒川町をどこまで知ってもらっているかは、基礎調査の中のウェブ調査で寒川町を外から見て町外の方がどの程度知っているかについては、地理的な要件や寒川神社については知っているという方はいらっしゃいますが、それ以外のイベント、生活、住環境については、町外の方が知っているということはほとんど無いという現状です。子育て世代の海老名や綾瀬、茅ヶ崎に住む方に直接ヒアリングをさせて頂きましたが、イベントを知らないや、寒川町はどのように認知しているかという点、何処かに行くための通過地点として捉えられているということで、周知しなければいけない大きな課題であると認識しております。知られていない現状がありますので、SNS等を活用してどのような情報発信をしていくかについては、ターゲットの暮らしの価値観やどんなアプリを使っているのか、関心事について調べておりますので、その年代に合わせたSNSでのシリーズものの企画や参加できるイベントなども含めて、手探りな状態なので、何がフックするのか分からない部分もございしますが、反応を見ながら試していきたいと考えてございます。事業者との連携については、得意な物件、仲介、管理、集合住宅に特化したなど経営スタイルはいろいろあると思いますが、住宅を選ぶきっかけとして大手不動産事業者が運営している住宅情報サイトが、入口として調べるきっかけになっていますので、寒川町の物件の取り扱いやPR活動をしていることを掲載することが出来ないかという提案を持ちかけていければと考えています。個別の事業者さんにもパンフレットやベンチマークを含めて、個別に営業活動をしていきたいと考えています。先ほど入口としては戸建てよりも賃貸とのことでしたが、町施策としては斡旋等の計画はしておりませんが、住宅情報サイトや個別事業者さんのHPなどのバナー連携をしながら供給者側の情報をポータルサイトにも載せながら周知していければと考えております。

(太田委員) プロモーション戦略案の14ページのコンセプトについて少しお話ししたいんですけど、コンセプト自体はいいと思います。読んでいくと暮らしやすいとは、環境がいいとか買い物も意外と便利という暮らしやすさと、ローコストという意味の安い、の2つの言葉を掛け合わせて平仮名にしてくらし、やすいにしているのかなと思います。今までずっと伺ってきたお話しで何を打ち出していくかという点は良く表されているなと思います。そう思って説明を読むと、私たちはこの話を聞いてきているので分かりやすいのですけれど、初めてこれを見た人が何が暮らしやすいんだろうと、環境の話は分かりやすくいろいろな自治体でもあると思います。それでいて買い物が便利のところは意外で、結論のところだから暮らしや

すいとなっていて、その次に付け足しみたいに住宅コストがお得となっていて、住宅コストがお得と言われたときに地価が安いことをすぐにイメージする人はいないと思うんです。特にメインターゲットが20から30代でサブが20から30代でファミリー層か単身層かの違いで、最初に地価と思う人よりも家賃が安いのかとか、町が家賃補助をするのかとかそのように思われるだろうなと思います。下の解説まで読むとそういうことかと分かるんですけど、もう少し下の解説で解き明かしていることを上に盛り込んであげたほうが分かりやすいということと、もう一つは、最後の一行が豊かさを実感できますで終わっているんです。これはコンセプトが平仮名でくらし、やすいと書いてスタートした話であれば、最後はだからくらし、やすい町なんですと終わらないと、平仮名のくらし、やすいの話がどこにいつてしまったんだろうとなりやすいと感じます。もう一つ、最後から2行目で豊かさが持てますというのも難しいなと思います。家を買う人が他所で買えばもっと高く、その分削らなければならぬ部分が寒川だと安く買えてその分他のことに使えますということですよ。それは、行政が決めつけることなのかなと思うんです。豊かさが持てると言われると、なぜそう言い切れるのかと、豊かさが感じられるだとまだ分かりませんが、もう少し言葉が足りないような気がします。下の解説を盛り込んで、他の生活の部分に配分すれば生活の質が上がりますとか変化しますとかがいいかなと思います。

(事務局) この部分は庁内的にも案を出したときに様々な意見が出ておりました。いろいろなご意見、ご指摘をいただいた方が、こちらの伝えたいことを伝えることが出来るのかなと思いますので、今いただいた意見も十分踏まえまして、こちらの思いが伝わるかたちにしていきたいと考えております。

(松島委員) 総合戦略で平成31年の転入者数2,000人を目標において、今実際に転入されてきている方が何名位でしょうか。

(事務局) 人口ビジョンを策定する段階で、年度によって変わりますが約1,900名程度が転入者数になります。

(松島委員) 2,000人はそんな高い数字ではないのでしょうか。

(事務局) 人口ビジョンからこの人数を確保していきたいと打ち出していますが、31年度だけではなく、新たに獲得し続けなければならないという意味では、既存の数字を上回らなければならないことは、ハードルは低くないと認識しております。

(松島委員) 転入されてきた方のご意見、インタビューはされたのですか。

(事務局) 昨年度の総合戦略の策定にあたりまして、転入者アンケート、転出

者アンケートを行っております。転入にあたってのきっかけや転出する理由をその中で押さえて、今回の中の意見はウェブ調査を加えて作成しております。

(松島委員) アクションプランで活動、効果で数字を置いています、それぞれの数字に根拠がありますか。例えば2ページの移住ポータルサイトのアクセス数に数字を置いていますか根拠がありますか。

(事務局) ポータルサイトのアクセス数ですと直接我々が情報を発信しているということが知られていない状況がございますので、それ以外のSNSやウェブコンテンツ、集客施設でのPR活動を通じて、ポータルサイトを紹介していく活動もしていく予定です。それを行った後どれほど興味を持っていただくかを基礎として数字を置いております。また、既存のホームページの閲覧状況を踏まえながら数字を置いております。

(松島委員) かなり良くとくられていると感じていまして、情報発信の受け手は様々だと思っておりますので、そこにある程度幅広く多面的に考えられていらっしゃると感じています。

(梅村委員長) プロモーション戦略案の9ページで、以前綾瀬市さんをターゲットにしていくという話があったかと思うのですが、この案は出ていくのでしょうか。

(事務局) ターゲットの移住の契機としましては、子どもが成長してきたや会社の関係もあると思いますが、湘南県央エリアを転居地と考えた時のポジショニングをしております、綾瀬市さんだけをターゲットとしてはおらず、近隣の駅周辺地域と分け、駅勢圏外市街地が競争相手としておりますので、綾瀬単独ではなく寒川町を取り巻く県央湘南エリアの駅から離れた地域を競争相手として捉えていきたいと考えてございます。

(梅村委員長) 資料としては好ましくないのではないのでしょうか。具体例としてはいいと思いますが。

(事務局) 基礎調査分析の資料では公開しておりますので、この本編は修正していきたいと思っております。

(梅村委員長) 単独で丸で囲わなければいいと思っております。

(太田委員) イメージのところ各市のデータが入っているところがあると思いますが、例えば茅ヶ崎は若い世帯の移住者が多くお子さんを連れて移住されて結果として待機児童が多いですが、力を入れて解消しようとしています。数字が動くわけで印刷され終わったところに状況が違うと言われないうちに気を遣ってやられた方がいいだろうと思っております。

(事務局) 時点も含めて配慮しながらやっていきたいと考えております。

(西郷委員) 神奈川新聞も広告を受けておまして、予算規模次第ですけども、

プロモーションを考えたときに、うちだったらどういう企画提案をするのかと思っております、藤沢にお勤めの方とかで寒川で探す方がいると思いますので、1ページ全体を使ってイメージ広告を打つのだろうと思うんですが、その時に、梅村先生に出てもらおうとか。数字をデータ化して出すより、価値観とか質というのは、人を出すのが一番だと思っております、梅村先生のご一家に取材に伺って、どうして寒川町に住んだかですかと。そういうものを写真と見せることによって、こんな暮らしをしているんだとニュアンスが分かるということが一番早いのかなと思います。連続で打つことをやった方がいいと思うんですけども、大学の先生が住んでいますとか、公務員の方、農家で新しく就農した若い人とか。今年、トライアスロンをやっている方を取材したんですけど、彼女は学校の水泳部で今それをいかしてやっているんですけど、寒川町から通い続けてものすごいハードな練習もこなしたというんです。今は、厚木に自転車で通っていて、山があつて海があつて寒川は丁度いいんですという話をされたんです。そういう具体的に走っている写真とPRすると、一目瞭然でこういう子がずっと暮らし続けたいんだと画質として理解しやすいと思いますので、そういう方を重視してやっていただきたいと思います。その際には、写真を含めてかっこよく撮ることが、若い人にアピールするには重要なことだと思います。

(事務局) 今言っていたように、寒川に暮らしている人が見えるかたちが、町外にお住まいの方にとってはイメージができるのかなと思いますので、人が見えるような内容にしていくべきだと感じましたので、取り組んでいけたらと思います。その際、私どもは専門家ではないので、いろいろな機会にご意見などをいただければよりよいものにしていけると思いますのでぜひご協力いただければと思います。

(高坂委員) 弊社も映像でお役に立てればと思っております、浜降り祭、びっちょり、みんなの花火では、ニュースでも映像を取らせていただいたものもあります。取材のクルーが寒川の地区にお伺いすると子どもたちのリアクションが素直でカメラによってくるお子さんが多いので、寒川に取材が決まるとクルーは喜んで行っている状況で、それもこの地区の良さかなと思います。SNSやYouTubeで1分位のプロモーション映像を自治体で試されているところも多いと思いますけども、映像も沢山撮っていることでもあるので、お役に立てることもあると思います。くらしやすい寒川もいいと思います一方で、寒川神社というのは寒川町の財産だと思うんです。相模一之宮で近寄りがないというギャップで、くらしやすいというのが、より説得力があるのではないかと思いますながらお伺いしていました。そ

	<p>の辺もお手伝いしながら一緒にやっていたらと思います。</p> <p>(梅村委員長) 他にございますでしょうか。無いようでしたら議題2は以上とさせていただきますと思います。様々なご意見が出ましたので、事務局におかれましては各委員の皆様のご発言等をご吟味いただけたらと思います。</p> <p>○その他</p> <p>(梅村委員長) 続きまして3「その他」でございますが事務局から何かございますか。</p> <p>(事務局) 事務局より1点ほどご連絡をさせていただきます。次回の会議の予定です。現在3月の開催を予定しております。予定議題としましては総合戦略の各事業の年度の進捗状況とKPIの見込値の報告を行いご意見をいただく予定をしております。日程の調整ができましたら改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。事務局からは以上です。</p> <p>(梅村委員長) ただいまの件についてご質問等ございますか。</p> <p>無ければ「その他」についてもここまでとさせていただきます。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了しましたので、事務局にお返しします。</p> <p>○閉会</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1：総合戦略進行管理票</p> <p>資料2：寒川町プロモーション戦略（案）</p> <p>資料3：寒川町プロモーション戦略アクションプラン（案）</p> <p>寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理票（平成28年度）一覧</p> <p>寒川町プロモーション戦略（案）概要版</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>豊田 敏樹（平成29年1月17日確定）</p>